

法士会報

発行所：法政大学デザイン工学部
都市環境デザイン工学科 同窓会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33

TEL・FAX (03) 5228 1406

発行人 中 村 徹

編集人 会報編集委員会

会長メッセージ

法士会会長 中 村 徹

今年の4月から、都市環境デザイン工学科同窓会（法士会）の会長を務めることになりました1978年卒業の中村です。どうぞよろしくお願いいたします。

吉田前々会長ならびに山口前会長の代には、「大学との連携」に積極的に取り組み、従来からの「社会工学セミナー」に加えて、教室の先生方との意見交換会を通じて双方の課題を共有することによって、「同窓生と学生との意見交換会」をかなり充実したものに導いていただきました。昨年度は100名近い同窓生が休日の時間を割いて参加してくださいという盛況ぶり、それに応えるかのように学生も予定時間が過ぎても帰らずに同窓生に意見を聞くという熱心な姿がみられ、同窓会活動に手ごたえを感じた1日でした。

法政大学は、今年、入学志願者数が関東でトップとなり

ました。志願者数が多いということは、偏差値も上がり、多くの優秀な学生が入学してくるという好循環が生まれます。教室側も、大学院進学者数を早慶並みに増やしたいと取り組んでおられます。母校のレベルがますます上がっていくことは、同窓生にとっても大変うれしいことです。

一方で、卒業生の同窓会離れは一層深刻になってきています。これは、法士会に限ったことではなく、理系同窓会（前工学部同窓会）や他の学部同窓会など法政大学全体に言えることで、他大学に比べて同窓会組織が弱いのは大変残念です。そこで、法士会では、今期の理事に若手や女性に加わってもらい、時代の変化に即した活動や情報発信に向けて、新鮮な目線での企画をお願いしているところです。同窓生の皆さまにも同窓会活動に積極的にご参加いただき、盛り上げてくださるようお願い申し上げます。

同窓会活動のさらなる活性化に向けて

法士会副会長 伊 東 賢

同窓会への入会者、特に若手卒業生の入会者の減少傾向が続くなか、同窓会活動が維持できなくなるのではないかと、との思いから、本年度より法士会理事会内に活性化企画グループが組織され、新たな活動を始めることになりました。グループメンバーは、若手理事を中心に構成されています。また、人数は以前より増えたことは間違いありませんが、絶対数が少ない女性の卒業生にも行事への参画を促すよう、女性理事もメンバーに加わりました。企画ク

ループの当面の課題は、同窓会が主催する行事へ出来るだけ多くの卒業生が参画できるようネットワークを構築することです。このために、主要行事の際に名簿を整備するとともに名刺交換会等を設定することを考えています。また、卒業生とのネットワークの維持には、各研究室にご協力いただかなければなりません。企画グループではこれらの具体策について検討、実行してゆきたいと考えています。

都市環境デザイン工学科 教室からの近況報告

都市環境デザイン工学科 学科主任 教授 鈴木 善晴



教室からの近況報告として、入試・教員・施設・就職の状況についてご報告させていただきます。今年度の新入生は90名（うち女子13名）で、過去数年と比較すると全体の人数は1割ほど多く、女子の人数は1割ほど少ないという結果でした。大学

全体としても志願者数が関東の私大で最多となるなど、今年度の入試は例年とは異なる傾向が見られました。専任教

員に関しては、昨年度末に森田教授が定年退職され、今年度後期から後任として若手の渡辺先生が着任される予定です。また、6研究室の引っ越しが8月中に実施され、市ヶ谷駅前の大郷ビルから市ヶ谷田町校舎近くの「新見附校舎」へ移動しました。今年度も学生の就職状況は極めて良好です。一方で、異分野への就職が増加さみで、また大学院への進学率が低迷していることは残念な状況であり、教室として改善に向けた取り組みを行っていきたいと考えております。今後とも卒業生の皆様からの温かいご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

「卒業生と学生との意見交換会」への取り組み

法士会副会長 **加藤 昌宏**

法士会では、母校学生が就職等の進路の検討や卒業後のキャリア形成の一助とするため、大学の学科と共催するゼミナールとして、毎年度、学部3年生と院修士1年生を対象に「卒業生と学生との意見交換会」を実施しています。この取り組みも、早いもので6回目の開催を迎えることとなり、今年度は10月を予定しています。同窓会理事総動員のもとに学科と連携しながら、各業界から多くの卒業生の参加に成り立つ法政ならではの有意義な事業として定着し

つつあります。

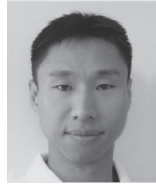
同窓会では、法政という共通ツールのもとに、未知の世界に羽ばたく母校学生に対しては、一般解ではなくより実感できるような場となるよう、また、卒業生にとっても人脈や見識を広げる場としても活用できるよう、取り組んでいきたいと考えています。

これからも、皆様の積極的な参加をお待ちしていますので、よろしくお願いいたします。

新役員の紹介

2017年度～2019年度の法士会役員を紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本役員は2017年3月4日開催の法士会幹事会により選出されました。

 中村 徹 ① 1978年3月卒 ② 共生機構(株) ③ 会長	 加藤 昌宏 ① 1978年3月卒 ② 八重洲地下街(株) ③ 副会長 学生との意見交換会担当 ④ 人脈は見識と仕事の幅を広げます。まずは法士会から。	 浅見 順一 ① 1980年3月卒 ② ジェイアール東日本コンサルタンツ(株) ③ 副会長 総務担当 ④ 50+1周年フェスに実行委員として取り組みます。	 伊東 賢 ① 1981年3月卒 ② 榊平新日本技研 ③ 副会長 活性化企画担当 ④ より多くの卒業生が参画できる同窓会を目指します。	 山川 宏明 ① 1984年3月卒 ② 西武建設(株)土木事業部 ③ 副会長 広報担当 ④ 法士会活性化に向け頑張ります。	 上木 泰裕 ① 1987年3月院修了 ② 鹿島建設(株)東京土木支店 ③ 副会長 社会工学セミナー担当 ④ 卒業生と教室・学生との交流をより深められればと思う。
 前田 重行 ① 1979年3月卒 ② 法政大学デザイン工学部 ③ 理事 事務局 ④ 2018年3月に退職です。やっと大学、同窓会を卒業です。	 北條 幸雄 ① 1982年3月卒 ② 法政大学デザイン工学部 ③ 理事 事務局 ④ コンサルから母校に転職。微力ながら後輩の力になれば	 山田 誉 ① 1991年3月卒 ② 大田区まちづくり推進部 ③ 理事 学生との意見交換会担当 ④ 法士会の発展に努めます。	 三村 卓 ① 1996年3月院修了 ② 西武建設(株)土木事業部 ③ 理事 事務局担当 ④ 世代間交流を通じて持続性のある同窓会を目指します。	 荒井 靖之 ① 1997年3月院修了 ② 東京都下水道局 ③ 理事 学生との意見交換会担当 ④ 法士会の更なる発展を目指し尽力します。	 黒川 信子 ① 1997年3月院修了 ② 日本工営(株)地盤環境部 ③ 理事 活性化企画担当 ④ 女性をもっと同窓会に参加できる場を作りたいです。
 高橋 寛 ① 1998年3月院修了 ② 榊大林組土木本部 ③ 理事 活性化企画担当 ④ 本年度からの新理事です。大学・後輩のため頑張ります。	 坂田 聡 ① 1997年3月卒 ② 東京地下鉄(株)改良建設部 ③ 理事 活性化企画担当 ④ 学生をいかに力強くするかに主眼を置いて頑張ります。	 辻 裕樹 ① 1999年3月院修了 ② 東京都建設局 ③ 理事 学生との意見交換会担当 ④ 今年度より理事に加わりました。よろしくお願いいたします。	 小宮 勲 ① 1998年3月卒 ② 榊復建エンジニアリング ③ 理事 社会工学セミナー担当 ④ 皆さんのお役にたてるよう頑張ります。	 山田 啓介 ① 2002年3月院修了 ② JR 東日本東京工務所 ③ 理事 社会工学セミナー担当 ④ 学生との交流を大事にします。	 草竹 真也 ① 2004年3月卒 ② 三井住友建設(株) ③ 理事 活性化企画担当 ④ より多くのOB/OGの方が参加できる会にしたいと思います。
 今泉 裕 ① 2007年3月卒 ② 榊安藤・間 ③ 理事 広報担当 ④ 皆様の力になれるよう頑張ります。	 棒 加奈美 ① 2011年3月卒 ② 大成ロテック(株)第一営業部 ③ 理事 広報・活性化担当 ④ 新入りです。頑張ります！	 大鹿 順司 ① 1979年3月卒 ② 伊藤忠テクノソリューションズ(株) ③ 監事 ④ 多くの同窓生が集える法士会活動したい。	 蛭川 愛志 ① 1984年3月卒 ② (一財)沿岸技術研究センター ③ 監事 ④ 皆さんに活用される同窓会に向けて頑張ります。		

活躍する卒業生 1

株式会社安藤・間 櫻井 孝 (2002年卒)



平成14年に卒業し、株式会社 安藤・間（当時、株式会社 間組）に入社して16年目になります。愛知県に始まり、静岡、海外、千葉、福岡、…、福島そして現在は茨城県内で河川工事に従事しています。

異動が多い職業、今では大分慣れてきましたが、始めの数年間はその度に大きな不安に襲われました。中でも海外勤務は特別でした。それまで海外旅行どころかパスポートさえ持っておらず、おまけに英語もままならないのに、旅行者も来ないよう

な地で働いている状況に異様な感覚になった覚えがあります。

これまで度々感じてきたのは「何とかなる」と言う事です。しかしそれは当然自分ひとりの力ではなく、サポートしてくれた上司や協力会社の方々がいたからです。先日、間もなく研修を終え、現場配属間近の新入社員と交流する機会がありました。各々不安はありながらもキラキラ輝いて見え、自分もこんな時があったなあと、自分自身初心に戻れる良い時間を持てました。

そんな彼らが思う存分に仕事で力を発揮出来る様、後ろからサポートしていける上司でありたいと強く思います。

活躍する卒業生 2

新日鉄興和不動産株式会社 大塚 真之 (2013年修了)



2007年にデザイン工学部に入学、高橋賢一教授に師事し、大学院を経て現在の新日鉄興和不動産株式会社に入社して5年目となりました。製鉄所周辺の遊休地開発、コンサルティングをしておりましたが本年4月からは都心分譲マンション開発の部署に異動し、日々試行錯誤しながら精進して

おります。

まちづくりの観点からみるとデベロッパーは“悪”と見られることもしばしばですが、幸い製鉄所の大規模面開発・地域再生事業や、赤坂エリア開発等長年腰を据えまちに向き合い、取り組む社風のおかげもあって民間の立場として都市に貢献する仕事をやらせてもらっています。

昨年プロジェクトマネージャとして初めて取組んだのは埼

玉県某中核市の都市計画道路の整備をあわせた約4.8haの開発でしたが、県の担当の方も同窓生で土木の世界に多くの同窓生の方が関わっていることを改めて実感しました。おかげ様で無事開通を迎え、異色かもしれませんが民間でも地図に残る土木の仕事ができた大変うれしく思っています。



都市計画、外構設計、構造躯体はもちろんのこと、工場跡地の開発が多いため土壌汚染や護岸や橋梁といったものも業務上扱うため、大学で教えていただいたことを最大限に活かし設計者、施工者の方にご助力頂きながら今後も魅力ある“まちづくり”のお役に立っていければと考えています。

研究室紹介

都市デザイン研究室

大学院デザイン工学研究科

都市環境デザイン工学専攻修士課程3年 友定 憲映



はじめまして。まず、私が修士3年目ということで、「おや？」と思われるかもしれません。私は他大学の経済学部で里山の地域振興を研究した後、進学の際、本学の他学部出身者向けの「修士課程3年コース」という制度と高見先生に出会い、現在に至ります。

さて、当研究室では現在5名の大学院生の内2名が他大出身、2名が留学生という多様な環境の中、“美しくふさわしいまちづくり”として熱海や鳥取県境港、飯田橋五叉路などで、今後の街のあり方を研究しています。

具体的には市民団体のまちづくり活動に参加したり、街路

のリニューアル模型や景観パースを作成し、住民説明に協力したりしています。また、まちの活性化・都市デザイン競技というコンペにも毎年参加し、私事ですが、一昨年には院生チームで2位相当を受賞しました。学生それぞれの道で多様なまちの特性を活かした、美しくふさわしいまちづくりを真摯に考えていきたいと思っています。今後も先輩諸氏のご支援、ご鞭撻よろしくお願い致します。熱海リノベーションオフィス「naedoco」でのゼミ



法政大学 理系同窓会ホームページ

<http://133.25.196.100/joomla3201/index.php>

法政大学 デザイン工学部
都市環境デザイン工学科 同窓会（法士会）ホームページ

http://civil.ws.hosei.ac.jp/wp/shinro_tokuchou/alumni_association

第24回 社会工学セミナー開催報告

社会工学セミナーは、先生による日頃聞けないようなご専門の研究や卒業生による現在携わっている業務等のご講演を通して、OBや学生などの交流の場として、年に1回開催しております。今年度は、2017年7月11日（火）に法政大学市ヶ谷田町校舎にて開催され、卒業生33名、学生15名がご参加され大盛況に終了いたしました。大学からは、森猛教授に長年ご研究されてきた「鋼道路橋の疲労」について、昨今の土木構造物の劣化状況やその対策、また今後土木技術者としてあるべき姿などを含め、一土木技術者として、大変、身の引き締まるご講演をして頂きました。一方、卒業生からは、東京地下鉄株式会社の坂田聡様に、現在盛んに工事が進んでいる「銀座線渋谷駅の移設改良工事」について、実際の映像等を含め、高度な土木技術や生の現場の声

等々をご講演頂き、更なる渋谷発展の礎をきづいていらっしゃることを実感させて頂きました。

講演題目

・「鋼道路橋の疲労」

法政大学 デザイン工学部

都市環境デザイン工学科

教授 森 猛

・「東京メトロ銀座線渋谷駅移設改良工事」～2017～

東京地下鉄(株) 鉄道本部 改良建設部

改良建設企画課課長

坂田 聡 (1997年卒)

講演終了後は、ご講演されたお二人方を含め、先生方や卒業生など約40名がお集まりになり、近場の食堂で親交を深め、有意義な時間を過ごすことができました。今後も、理事会としては、この社会工学セミナーが、日頃の学業

や業務等に活用されることを願っており、ますます、多くの方々のご参加をされることを心より望んでおります。

小宮 勲 (1998年卒 理事)



森教授の講演



坂田氏の講演

第2回 GHT勉強会の開催報告

平成28年5月に西谷ゼミ卒業生が発起人となって、皆様の日頃の仕事や情報を話題に花を咲かせ、法大土木OBの結束を図る事を目的としたGHT (Group of HOSEI Technician) 勉強会を開催しました。本年も、7月6日(木)に市ヶ谷キャンパスのボアソナード・タワーで開催し、西谷隆巨名誉教授、

宮下清榮教授にも参加頂きました。

この勉強会は、ゼミや学科に関係なく法政大学出身であれば、どなたでも参加して頂き、忌憚のない意見交換をすることが特徴です。奮ってご参加ください。どうぞよろしくお願いいたします。

蛭川愛志 (1984年卒 監事)



西谷名誉教授（前列右から2番目）を囲んで

会報編集委員のページ

「社会インフラを支える」、「街や人々の生活を守る、創る」「広場・公園に興味あり！」就活当時の私の志望動機（＝建設業の魅力）はこんな感じだったのでしょうか。現在サブコン（道路会社）の営業職として働いていますが、某建設コンサルと仕事をした時、建設業の魅力を「描いたものが完成するのはとても感慨深い、ミリ単位の設計と、大規模なメートル単位の施工。完成時の誤差は数ミリと知ると感動する」と仰いました。こんな発想なかった！ 私なんて折り鶴を折るだけでも数ミリのズレが出るのに！（笑）建設業の新しい魅力発見です。（捧）



長岡花火大会 (2017年8月 捧 撮影)

先日、海外赴任をしていた高校時代の友人が日本勤務に戻ったので久しぶりに集まりました。近況を報告し合っていると、なんと徒歩圏内に住んでいるではないですか！ しかも、お互い今年子供が産まれて同学年で同じ学区。私達は名古屋出身で埼玉に縁の無い二人なのですがこんな偶然があるなんて、と驚いたものです。高校時代を思い出し話が尽きることはありませんでした。いつもは忙しく遠いからと行かない同窓会に今年は行ってみようかな、と思う今日この頃です。（今泉）

編集後記

年1回発行という法土会報ですが、若手理事の参加により、紙面の充実が図られてくるものと期待しています。また、紙媒体から電子化など、時代の要請にも応えてゆきたいと思います。記事を執筆して下さる方々には、いつも頭の下がる思いです。今後とも、ご理解・ご支援のほどよろしくお願い致します。

法土会編集委員 三村 卓 (1994年卒)